

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009001	●総合英語 Ⅰ (T5)	和	E		前川 智 子	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009002	●総合英語 Ⅰ (T1)	和	E		村岡 三 奈子	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009003	●総合英語 Ⅰ (E8)	和	E		吉村 宗 司	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009004	●総合英語 Ⅰ (T2)	和	E		山口 敦 子	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009005	●総合英語 Ⅰ (T6)	和	E		加島 巧	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009006	●総合英語 Ⅰ (E2)	和	E		加島 巧	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009007	●総合英語 Ⅰ (L4)	和	E		古場 な おみ	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009008	●総合英語 Ⅰ (F1)	和	E		井石 哲 也	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009009	●総合英語 Ⅰ (F2)	和	E		大坪 有 実	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009010	●総合英語 Ⅰ (T8)	和	E		大坪 有 実	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009011	●総合英語 Ⅰ (K2)	和	E		大坪 有 実	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	～
2013年度	教養教										

シラバス一覧

シラバス (教養教育 科目)	育・教養教育 英語科目	20130590009012	●総合英語 Ⅰ (K3)	和	E		中村 史 花	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009013	●総合英語 Ⅰ (E3)	和	E		中村 史 花	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009014	●総合英語 Ⅰ (E5)	和	E		稲富 百 合子	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009015	●総合英語 Ⅰ (T4)	和	E		稲富 百 合子	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009016	●総合英語 Ⅰ (E7)	和	E		濱崎 大	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009017	●総合英語 Ⅰ (T9)	和	E		濱崎 大	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009018	●総合英語 Ⅰ (D1・2)				藤本 ゆ かり	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009019	●総合英語 Ⅰ (T7)	和	E		宇佐美 康子	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009020	●総合英語 Ⅰ (E4)	和	E		稲田 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009021	●総合英語 Ⅰ (M3)	和	E		稲田 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009022	●総合英語 Ⅰ (E1)	和	E		井上 一 郎	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009023	●総合英語 Ⅰ (K4)	和	E		松田 雅 子	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009024	●総合英語 Ⅰ (K1)	和	E		松田 雅 子	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009025	●総合英語 Ⅰ (M4)	和	E		廣江 顕	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20130590009026	●総合英語 Ⅰ (T3)	和	E		廣江 顕	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～

科目)	目										
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009027	●総合英語 Ⅰ (T10)	和	E		廣江 顕	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009028	●総合英語 Ⅰ (M6)	和	E		廣江 顕	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009029	●総合英語 Ⅰ (M5)	和	E		池田 俊 也	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009030	●総合英語 Ⅰ (L3)	和	E		西原 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009031	●総合英語 Ⅰ (L6)	和	E		西原 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009032	●総合英語 Ⅰ (P1)	和	E		西原 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009033	●総合英語 Ⅰ (L2)	和	E		西原 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009034	●総合英語 Ⅰ (M1)	和	E		西原 俊 明	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009035	●総合英語 Ⅰ (P2)	和	E		小笠原 真司	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009036	●総合英語 Ⅰ (F3)	和	E		小笠原 真司	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009037	●総合英語 Ⅰ (E6)	和	E		小笠原 真司	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009038	●総合英語 Ⅰ (L1)	和	E		小笠原 真司	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009039	●総合英語 Ⅰ (M2)	和	E		小笠原 真司	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 英語科 目	20130590009040	●総合英語 Ⅰ (L5)	和	E		稲毛 逸 郎	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009001	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T5)		
編集担当教員	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(T5)		
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後10分間		
授業のねらい	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業方法（学習指導法）	様々の人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文のoverlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。各章の総まとめとして、空所補充形式のリスニング問題を行い、リスニング力と共に語彙力を確認する。		
授業到達目標	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業内容	回	内容	
	1	第1回 Orientation 教科書販売 / 、英語構成法	
	2	第2回 Ch.1: September 11 （語彙・読解問題、音読、リスニング）	
	3	第3回 Ch.2: Beyond “September 11” （語彙・読解問題、音読、リスニング）	
	4	第4回 Ch.3: The Stone Walk （語彙・読解問題、音読、リスニング） /	
	5	第5回 Ch.4: Students' Power in the Stone Walk （語彙・読解問題、音読、リスニング）	
	6	第6回 Review (Ch. 1~ 4)、ビデオ観賞 / Ch. 5:Japan and My Family （語彙）	
	7	第7回 Ch. 5:Japan and My Family （読解問題、音読、リスニング）	
授業内容	8	第8回 中間テスト / Ch.6: The Japan that I love （語彙）	

	9	第9回 中間テストの復習 / Ch.6: The Japan that I love (読解問題、音読、リスニング)
	10	第10回 Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	11	第11回 Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	12	第12回 Ch.11: Prayer for Peace (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	13	第13回 G-TELP テスト
	14	第14回 Ch.12: Japanese Young Volunteers in America (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	15	第15回 授業のまとめと復習
	16	第16回 期末テスト
キーワード	語彙力、読解力	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)	
成績評価の方法・基準等	G-TELPテスト(20%) / E-Learning(20%) 期末テスト(30%) / 中間テスト(15%) 毎週の課題・授業中の活動(15%)	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると定期試験を受ける資格を失う。 30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	読解力、語彙力、英語らしい発音・イントネーションが向上する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回宿題(教科書の練習問題)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009002	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T1)		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(T1)		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	随時		
授業のねらい	政治・経済・科学技術・文化・教育など、様々なトピックを題材にした英字新聞を読みながら、現代社会が抱える諸問題を英語で分析的に理解する能力を養うことを目指す。		
授業方法（学習指導法）	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的語彙と文法事項の習得、テキスト読解およびその要約、さらに 内容理解チェックの順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。		
授業到達目標	基本的構文および文法事項に留まらず、英文記事を読むための表現や基礎知識を習得して、英字新聞が抵抗なく読めるようになる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。 毎回、小テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	4月4日 イン트로ダクション	
	2	4月11日 Chapter 1	
	3	4月18日 Chapter 2	
	4	4月25日 Chapter 3	
	5	5月2日 Chapter 4	
	6	5月9日 Chapter 5	
	7	5月16日 Chapter 6	
	8	5月23日 Chapter 7	
	9	5月30日 Chapter 8	
	10	6月6日 Chapter 9	

	116月13日 Chapter 10 126月20日 Chapter 11 136月27日 G-TELP 147月4日 Chapter 12 157月11日 Chapter 13 16定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Insights 2013 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況：10％ 小テスト：10％ 定期試験：40％ G-TELP：20％ 課外学習の e-learning：20％ （詳細は第1回目の授業で説明）
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009003	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (E8)		
編集担当教員	吉村 宗司		
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	(E8)		
担当教員Eメールアドレス	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後（14:20～14:40／授業時の教室）		
授業のねらい	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語（米語）－必要最低限の英語（米語）－を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。		
授業方法（学習指導法）	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性（音法）について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語（米語）の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事（ニュース）等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。		
	授業内容（概要） 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性（音法）の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか）	
	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』－分析結果の報告と対策法について	

授業内容	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/
	4	/r/ と /l/ の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
	6	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ行音化
	7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /n/ + /t/ と /n/ + /d/ による音変化
	8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
	9	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音 /j/ に絡む音変化①）
	10	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音 /j/ に絡む音変化②）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
	11	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/ の後続音への影響）
	12	On an Airplane(1)
	13	G-TELP実施
	14	On an Airplane(2)、洋楽を聞き取る
	15	At an Airport、洋楽を聞き取る、まとめ
	16	定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。なお、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法	
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材） (2) American（ハンドアウト教材） (3) アメリカの生活と文化（VTR教材）	
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、受講態度、及び授業中の発表10%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL10%、PowerWords10%）等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。	
受講要件（履修条件）	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。	
本科目の位置づけ	本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。	
学習・教育目標	英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009004	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T2)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(T2)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095－846-0084		
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目指す。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業方法（学習指導法）	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。最後に本文の要約とリスニングスクリプトを完成させる。		
授業到達目標	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業内容	毎回テキストに沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。その後、想像力を働かせながら要約とリスニングスクリプトを完成させることで、英語として本文を把握する。受講者は前もってその箇所を予習しておく。		
	回	内容	
	1	イントロダクション（授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について）	
	2	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job	
	3	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test	
	4	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends	
	5	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information	
	6	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap	

	7	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan
	8	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements
	9	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins
	10	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer
	11	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around
	12	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea
	13	G-TELP テスト
	14	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate
	15	授業の総括と復習
	16	定期試験
キーワード	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、	
教科書・教材・参考書	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況（発表）10%、 定期試験 50%、 G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%） 課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009005	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T6)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	(T6)		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。英検2級の問題集に併せてリスニング能力や速読能力を高めるテキストを使用し、英語の総合力を高めます。プリントも使用します。		
授業方法（学習指導法）	授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解して行きます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業到達目標	到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
	授業の最初には速読のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後英検の過去問題を読んで行きます。必ず指定され部分を予習しておいてください。		
	回	内容	
	1	第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1	
	2	第2回：速読・Practice Test 2 英検過去問 1	
	3	第3回：速読・Practice Test 3 英検過去問 2	
	4	第4回：中間テスト1回目 速読・Practice Test 4	
	5	第5回：速読・Practice Test 5 英検過去問 3	
	6	第6回：速読・Practice Test 6 英検過去問 4	

授業内容	7	第7回：速読・Practice Test 7 英検過去問 5
	8	第8回：中間テスト2回目 速読・Practice Test 8
	9	第9回：速読・Practice Test 9 英検過去問 6
	10	第10回：速読・Practice Test 10 英検過去問 7
	11	第11回：速読・まとめ 1
	12	第12回：速読・まとめ 2
	13	第13回：G-TELPテスト
	14	第14回：速読・まとめ 3 英検過去問 8
	15	第15回：中間テスト 3
	16	第16回：定期試験
キーワード	英検2級 総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test （南雲堂）2,100円 2013年度版英検2級過去6回全問題集（旺文社英検書）1,365円 （第一回目の授業時に教室にて販売します。）	
成績評価の方法・基準等	定期試験50％ 授業中の小テスト10％ G-TELPテスト20％ 課外学習のe-learning 20％ (3Step C ALL 10％ PowerWords 10％)	
受講要件（履修条件）	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009006	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E2)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	(E2)		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。英検2級の問題集に併せてリスニング能力や速読能力を高めるテキストを使用し、英語の総合力を高めます。プリントも使用します。		
授業方法（学習指導法）	授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解して行きます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業到達目標	到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
	授業の最初には速読のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後英検の過去問題を読んで行きます。必ず指定され部分を予習しておいてください。		
	回	内容	
	1	第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1	
	2	第2回：速読・Practice Test 2 英検過去問 1	
	3	第3回：速読・Practice Test 3 英検過去問 2	
	4	第4回：中間テスト1回目 速読・Practice Test 4	
	5	第5回：速読・Practice Test 5 英検過去問 3	
	6	第6回：速読・Practice Test 6 英検過去問 4	

授業内容	7	第7回：速読・Practice Test 7 英検過去問 5
	8	第8回：中間テスト2回目 速読・Practice Test 8
	9	第9回：速読・Practice Test 9 英検過去問 6
	10	第10回：速読・Practice Test 10 英検過去問 7
	11	第11回：速読・まとめ 1
	12	第12回：速読・まとめ 2
	13	第13回：G-TELPテスト
	14	第14回：速読・まとめ 3 英検過去問 8
	15	第15回：中間テスト 3
	16	第16回：定期試験
キーワード	英検2級 総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test （南雲堂）2,100円 2013年度版英検2級過去6回全問題集（旺文社英検書）1,365円 （第一回目の授業時に教室にて販売します。）	
成績評価の方法・基準等	定期試験50％ 授業中の小テスト10％ G-TELPテスト20％ 課外学習のe-learning 20％ (3Step C ALL 10％ PowerWords 10％)	
受講要件（履修条件）	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009007	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L4)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(L4)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(１) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(２) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業方法（学習指導法）	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	CNN Student News Unit 1	
	3	CNN Student News Unit 1, 2	
	4	CNN Student News Unit 2	
	5	CNN Student News Unit 3	
	6	CNN Student News Unit 3, 4	
	7	CNN Student News Unit 4	
	8	CNN Student News Unit 5	
	9	CNN Student News Unit 5,6	
	10	CNN Student News Unit 6	
	11	CNN Student News Unit 7	
	12	CNN Student News Unit 7,8	
	13	G-TELP	

	14	CNN Student News Unit 8
	15	CNN Student News Unit 9
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	CNN Student News (Asahi Press)	
成績評価の方法・基準等	教員評価分60%（定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%） G-TELP 20%, e-learningの評価 (1) 語彙力養成のために、Power Wordsの指定されたレベル の50ユニットを15週で修了すること※10%(2) 総合的英語力養成のために、3 STEP CALL Sys tem を15週で15時間以上学修すること※10%	
受講要件（履修条件）	毎回予習をして授業に臨むこと、10回以上の出席	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	授業中に指示	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009008	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (F1)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	(F1)		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	授業前後に授業を実施している教室で受付けます。		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り（イギリス英語の会話表現等）、イギリス文化理解		
授業方法（学習指導法）	使用テキストの英文（400語前後）を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目指す。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法（第1章をサンプルとして）と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、13回目の授業でG-TELP（共通テスト）を実施し、結果を評価の一部にあてる。		
	回	内容	
	1	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real	
	2	Chapter 2: Exporting Sport	
	3	Chapter 3: Literature:The Reading Boom	
	4	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes	
	5	Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity	
	6	Chapter 6: Population: Food for Thought	
	7	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better	
	8	Chapter 8: Smoke-free Britain	
	9	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals	
	10	Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives	

	11	Chapter 11: Structures of the Millennium
	12	Chapter 13: Education in the UK
	13	G-TELP実施日
	14	Chapter 14: Superstition and Beliefs
	15	Chapter 15: Pedal Power
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido)	
成績評価の方法・基準等	定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表10%、課外学習のe-learning 20%の配点とする。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009009	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (F2)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(F2)		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜12：00～12：45		
授業のねらい	英字新聞の特徴、構成をつかみ、何を伝えようとしているのか、正確に読み取ることをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	1回の授業で1chapter読む。 前半で、既習文法の再確認、英字新聞の構成について学習する。 後半で、英字新聞を精読する。		
授業到達目標	グラフ、写真等の視覚情報を参考に、英字新聞の記事で、何が話題となっているのか、正確に理解し、それについて自分はどう思うのか、述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて	
	2	English Creates Chances	
	3	Keep Away from Herbs!	
	4	Read Warrior No More	
	5	How Is Personality Formed?	
	6	Welcome to a Cheaper Sky	
	7	Modern-Day Tatami	
	8	17-Year-Old Ballerina Wins Prix de Lausanne	
	9	High-Tech Voting	
	10	The Mystical Factory Tour	
	11	Speak Up, Japanese Youth!	

	12	From Both the East and the West
	13	G-TELP
	14	The Stronger, the Worse
	15	Technology Inspired by Animals and Insects
	16	定期試験
キーワード	既習文法再確認 記事関連語句 単語力増強	
教科書・教材・参考書	Insights 2013 金星堂 1,995円	
成績評価の方法・基準等	授業 6 0 %、G-TELP 2 0 %、課外学習のe-learning（3 Step CALL 10 %、Power Words 10 %） 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	授業で発表してもらいますので、しっかりと予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009010	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T8)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(T8)		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜 12：00～12：45		
授業のねらい	既習文法を再確認し、英文を正確に読み取ることをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	1回の授業で1chapter読む。 前半は既習文法等を確認しながら英文を読む。 後半は読んだ内容に関する問題を解く。リスニング。		
授業到達目標	各chapterで取り上げられたトピックを正確に理解し、それについて自分はどうか、自分の考えを述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて	
	2	Crops for Food or Fuel?	
	3	Oceans Awash in Toxic Plastic	
	4	Global-warming Super Typhoons	
	5	Slingshot:Water Purification Innovation	
	6	Engineering Earth is Possible	
	7	Making Stem Cell Therapy into Reality	
	8	Learning from the 2011 Tohoku Tsunami	
	9	Gigantic Oil Spills and Clean-ups	
	10	Public Construction Projects Under Review	
	11	Grand Unified Theory of Artificial Intelligence	
	12	A Bright Future for LED Lights	

	13	G-TELP
	14	Kindles and iPads:Reshaping Japanese Publishing
	15	Civil Engineers Test New Concrete
	16	定期試験
キーワード	Natural Science 21st Century Innovations	
教科書・教材・参考書	Science Avenue 成美堂 ￥1,900＋税	
成績評価の方法・基準等	授業60%、G-TELPテスト 20%、 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%） 課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009011	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (K2)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(K2)		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜 12：00～12：45		
授業のねらい	各トピックで何が話題になっているか、正確に読み取る力をつけることをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	1回の授業で1 Unit進む。 前半は英文精読。 後半は既習文法の再確認。リスニング。速読練習。		
授業到達目標	精読と速読の2つの読解法を学習し、英文を見て、どちらで読むほうがいいのか判断し、確実に英文の内容を読み取る力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて	
	2	Chocolate Power!	
	3	An End to Malaria?	
	4	Spiders in Space?	
	5	Feeling Stressed or Annoyed? Talk, Don't Text!	
	6	Speeding Sharks	
	7	Asteroid Special Delivery	
	8	"Dung Beetle" Car Powered by Poop	
	9	Robot Scientist	
	10	Skyscraper Farms	
	11	Thanks to Your Twin Brother	

	12	Butterflies Find a Cure
	13	G-TELP
	14	Warning:Sticky Dust!
	15	From the Jungles of Mount Samkos
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Science for Everyone 金星堂 1,995円	
成績評価の方法・基準等	授業60%、G-TELPテスト 20%、 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%） 課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009012	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (K3)		
編集担当教員	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	(K3)		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業のねらい	英語ニュースに慣れる。世界のニュースに触れ、世界中で起こっている様々な出来事を知り、その背景を理解する。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。		
授業方法（学習指導法）	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を読み・聞く訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業内容	アメリカの学生向けニュース番組CNN Student Newsを教材とする。ニュースを視聴して、その音声・表現方法に慣れ、情報を適切に入手する訓練をする。ディクテーション・音読練習をする。*このCNN Student Newsは土日を除くほぼ毎日放送され、WEB上でも視聴可能ですので、ぜひ自分で検索して見てみてください。 1. Introduction 2. Soccer Brain Study(1) 3. Soccer Brain Study(2) 4. The World's Population 5. Quake Concerns 6. Fat Tax 7. Global Sea Level 8. Light Pollution 9. Leaning Tower? 10. New Arcade Trend 11. Smell of Success 12. Mine Detection		

	13. G-TELP 14. 発表(1) 15. 発表(2) 16. 定期試験
キーワード	時事英語、リスニング、音読
教科書・教材・参考書	関戸冬彦『CNN Student News(1)(CD付)』朝日出版社 1900円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、課題10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。
受講要件（履修条件）	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	授業には必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。内容がよくつかめないときには何がわからないのかを明らかにさせてきてください。最初はなかなか聞き取れなくても徐々に耳が慣れていきます。何度も繰り返し聞き、声に出す練習をしましょう。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009013	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (E3)		
編集担当教員	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	(E3)		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業のねらい	英語ニュースに慣れる。世界のニュースに触れ、世界中で起こっている様々な出来事を知り、その背景を理解する。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。		
授業方法（学習指導法）	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を読み・聞く訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業内容	アメリカの学生向けニュース番組CNN Student Newsを教材とする。ニュースを視聴して、その音声・表現方法に慣れ、情報を適切に入手する訓練をする。ディクテーション・音読練習をする。*このCNN Student Newsは土日を除くほぼ毎日放送され、WEB上でも視聴可能ですので、ぜひ自分で検索して見てみてください。 1. Introduction 2. Soccer Brain Study(1) 3. Soccer Brain Study(2) 4. The World's Population 5. Quake Concerns 6. Fat Tax 7. Global Sea Level 8. Light Pollution 9. Leaning Tower? 10. New Arcade Trend 11. Smell of Success 12. Mine Detection		

	13. G-TELP 14. 発表(1) 15. 発表(2) 16. 定期試験
キーワード	時事英語、リスニング、音読
教科書・教材・参考書	関戸冬彦『CNN Student News(1)(CD付)』朝日出版社 1900円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、課題10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。
受講要件（履修条件）	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	授業には必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。内容がよくつかめないときには何がわからないのかを明らかにさせてきてください。最初はなかなか聞き取れなくても徐々に耳が慣れていきます。何度も繰り返し聞き、声に出す練習をしましょう。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009014	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (E5)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(E5)		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。		
授業到達目標	（１）英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 （２）自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
	予習、復習を前提に行います。１回の授業につき１ユニット進めることを進度の目安にしてください。		
	リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。		
	リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。		
	テキストの構成は以下の通りです。		
	(1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について (2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について (3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの (3) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題 (4) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー		
		回	内容
		1	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成について（プリント教材）
		2	Chapter 1:INDIA

授業内容	3	Chapter 2: PHILIPPINES
	4	Chapter 3: THAILAND
	5	Chapter 4: VIETNAM
	6	Chapter 5: KOREA
	7	Chapter 6: FRANCE
	8	Chapter 7: ITALY
	9	Chapter 8: DENMARK
	10	Chapter 9: PORTUGAL
	11	Chapter 10: TURKEY
	12	Chapter 11: EGYPT
	13	G-TELP
	14	Chapter 12: SOUTH AFRICA
	15	Chapter 13: BRAZIL
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	[Title] World Adventures [Author(s)] Scott Berlin／小林めぐみ [Publisher] 金星堂 [ISBN] 978-4-7647-3907-9 *参考書等 授業中に適時紹介します。 *授業には必ず辞書を持参して下さい。	
成績評価の方法・基準等	【教員評価分】60%＜定期試験40%、授業への積極的な取り組み状況（発表を含む）15%、小テスト5%＞、【課外学習のe-learning】20%＜3 Step CALL 10%、Power Words 10%＞、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2300円（税別）です。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009015	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T4)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(T4)		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、英語の4技能のうち、特に「読む」・「聴く」の能力を養成します。		
授業方法（学習指導法）	この授業では、身近な大学生活の各場面を題材にした実用性の高いテキストを使用しながら、学習を進めていきます。		
授業到達目標	（1）英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを取り入れ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 （2）自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容を理解する力を向上させる。		
	予習・復習を前提に授業を進めます。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。ただし、内容によっては2ユニット進めることもありますので、その際には事前にお知らせします。		
	なお、テキストの構成は以下の通りです。		
	(1) Vocabulary: 各ユニットのトピックに関する語句をクイズ形式で学習		
	(2) Listening: ディクテーションの練習問題 → スピーキングの練習も可能		
	(3) Useful Expressions: 実用的な表現の紹介		
	(4) Substitution Practice: 各ユニットに関連したトピックのダイアログをもとに、表現を置き換えて3パターンの表現を習得する練習		
	(5) Reading: 英文を読み、練習問題に挑戦		
	(6) Reading Comprehension: True or False Questionsなど		
	(7) Writing: Readingの内容を参考にして練習		
	回	内容	
	1	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成や英語の音声変化について（プリント教材を配布）	
	2	Unit 1: Where is the PC room?	
	3	Unit 2: What does "term" mean?	

授業内容	4	Unit 3: When does Golden Week start?
	5	Unit 4: I'm a member of the International Exchange Club.
	6	Unit 5: I got a part-time job at the International Foods Market.
	7	Unit 6: What do you think about this program?
	8	Unit 7: How do you spend your vacation?
	9	Unit 8: When is the due date?
	10	Unit 9: May I take a bath every night?
	11	Unit 10: Is this the right bus to go downtown?
	12	Unit 11: Do you need some help?
	13	G-TELP
	14	Unit 12: It looks like my GPA has improved.
	15	Unit 13: I don't know which to choose.
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	[Title] Campus English [Authors] 西蔭浩子（他） [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-4-86312-222-2 *参考書などは授業中に適時紹介します。 *授業には必ず辞書を持参してください。	
成績評価の方法・基準等	【教員評価分】 6 0 %＜定期試験 4 0 %、小テスト 5 %、授業への積極的な取り組み状況（発表を含む） 1 5 %＞、【課外学習のe-learning】 2 0 %＜3 Step CALL 10%、Power Words 1 0%＞、【G-TELP】 2 0 %とし、総合的に判断し評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	原則として全回出席することが求められます。 第 1 回目の授業では、教室にて教科書販売を行います。代金は2,100円（税込）です。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009016	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E7)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	(E7)		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 中学・高校で学んできた受験英語から脱して、日本語訳、英語訳に対する対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法（学習指導法）	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。 Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	4月9日 第1回 Introduction	
	2	4月16日 第2回 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure	
	3	4月23日 第3回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans	
	4	4月30日 第4回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio	
	5	5月7日 第5回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee	
	6	5月14日 第6回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce	
	7	5月21日 第7回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace	
	8	5月28日 第8回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work	
	9	6月4日 第9回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts	

	10 6月11日 第 1 0 回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs
	11 6月18日 第 1 1 回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air
	12 6月25日 第 1 2 回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan
	13 7月2日 第 1 3 回 G-TELP
	14 7月9日 第 1 4 回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best
	15 7月16日 第 1 5 回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon
	16 7月30日 第 1 6 回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%）課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%
受講要件（履修条件）	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席が1/3以上で期末試験受験資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	脱受験英語
備考（URL）	
備考（準備学習等）	G-TELPテストの詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009017	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T9)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(T9)		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在可		
授業のねらい	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 中学・高校で学んできた受験英語から脱して、日本語訳、英語訳に対する対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法（学習指導法）	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。 Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	4月5日 第1回 Introduction	
	2	4月12日 第2回 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure	
	3	4月19日 第3回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans	
	4	4月26日 第4回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio	
	5	5月10日 第5回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee	
	6	5月17日 第6回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce	
	7	5月24日 第7回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace	
	8	5月31日 第8回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work	
	9	6月7日 第9回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts	

	10 6月14日 第 1 0 回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs
	11 6月21日 第 1 1 回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air
	12 6月28日 第 1 2 回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan
	13 7月5日 第 1 3 回 G-TELP
	14 7月12日 第 1 4 回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best
	15 7月19日 第 1 5 回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon
	16 7月26日 第 1 6 回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20%（3 Step CALL 10%、PowerWords10%）課外学習のe-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%
受講要件（履修条件）	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席が1/3以上で期末試験受験資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	脱受験英語
備考（URL）	
備考（準備学習等）	G-TELPテストの詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009018	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (D1・2)		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	(D1・2)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日 2 時 3 0 分より		
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業方法（学習指導法）	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し（読む・聴く）、英語で考えて英語を使う（話す・書く）能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に、様々なリーディングの活動（スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング）を行う。CDを聴きながら、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。（テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。）また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれてきたもので、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録		

のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。

回	内容
1	4月 5日 導入・授業内容の説明
2	4月12日 Unit 1
3	4月19日 Unit 2
4	4月26日 Unit 3
5	5月10日 Unit 4
6	5月17日 Unit 5
7	5月24日 Unit 6
8	5月31日 Unit 7
9	6月 7日 Unit 8
10	6月14日 Unit 9
11	6月21日 Unit 10
12	6月28日 Unit 11
13	7月 5日 G-TELPポスト・テストとまとめ
14	7月12日 Unit 12
15	7月19日 Unit 13
16	8月 2日 定期試験

リーディング／リスニング／英文法／英作文／TOEIC／英字新聞／世界の出来事・環境・健康

The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」 （小笠原真司 他： 南雲堂）
英和辞典（電子辞書）を必携すること。

このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト（G-TELPテスト）の結果を20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL 10%、Power Words10%）を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。
また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。

授業には、全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。

リーディング・スキルの定着と向上、及び英語で表現する能力の養成を図る。

総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を高める。

授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009019	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T7)		
編集担当教員	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	(T7)		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日 2 限から3限		
授業のねらい	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力を保持しつつ、ある程度まとまった量の文を、ある程度速く読んで大意が取れるようにします。同時にある点についての情報をできるだけ正確にとる練習もします。また、聴解、発話の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を充実させます。		
授業方法（学習指導法）	演習形式		
授業到達目標	TOEIC 550点程度の英文を、ある程度の速さ、ある程度の正確さで読むことができること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語会話の聴解と発話ができること。		
	授業の最初は、英語構文あるいは英作文、さらに英単語の小テストを行います。テスト範囲は、毎回テキストから指定します。 その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切です。手を抜かずに努力して下さい。次に、精読の確認を行い、文法確認や英作文などを行います。また、制限時間内で読んで大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 適宜プリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
	回	内容	
	1	1. Reasons/Conclusions	

授業内容	2	2. Analysis (Social Phenomena)
	3	3. Analysis (Evidence)
	4	4. Cotroversy
	5	5. Comparison/Contrast
	6	6. Classification
	7	7. Chronological Oder (History)
	8	8. Cause & Effect
	9	9. Process Analysis
	10	10. Explanation
	11	11. Definition
	12	12. Explanation (Experiment)
	13	G-TELP テスト
	14	13. Graph Analysis
	15	14. New Business
	16	期末試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Outlook on Science and Technology(Nan'un-do, CD付き)	
成績評価の方法・基準等	定期試験約45%、授業への参加(小テスト含む) 約15%、G-TELPテスト 20%、 課外 学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習の e-learningに関しては第 1 回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則です。教科書を購入して第一回目に臨んで下さい。第一回目から授業に入ります。	
本科目の位置づけ	英語は現在事実上、世界の第一共通言語になっています。そのため、第一線の情報を迅速に得るには、英語のスキルが必要になっています。英語の授業を、英語の実力向上に最大限役立ててください。	
学習・教育目標	英語学習を、まず楽しんでもらいたいです。 できるだけ知的に興味の持てる教材を用意するよう努力しますので、学生も授業に積極的に参加して下さい。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009020	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (E4)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(E4)		
担当教員Eメールアドレス	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー	火曜 2 限 (事前にメールで連絡すること)		
授業のねらい	① 英文読解力と英文要約（英文を日本語と英語で要約する力）を養う。 ② 語彙力とリスニング能力を養う。		
授業方法（学習指導法）	配布する教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テスト、隔週、課題の提出を求める。		
授業到達目標	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で論じる基礎的な英文のライティング能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	Course Outline (導入)	
	2	速読教材: 教材は第 1 時間目に配布	
	3	速読教材: 教材は第 1 時間目に配布	
	4	Listening Comprehension Quiz (第 1 回)	
	5	Textbook: News Media の英語 (1)	
	6	Textbook: News Media の英語 (2)	
	7	Listening Comprehension Quiz (第 2 回)	
	8	Textbook: News Media の英語 (3)	
	9	Textbook: News Media の英語 (4)	
	10	Listening Comprehension Quiz (第 3 回)	
	11	Textbook: News Media の英語 (5)	

	12	Textbook: News Media の英語（６）
	13	G-TELP実施
	14	英文課題作文（１）
	15	英文課題作文（２）
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	English through the News Media: 2013 Edition (ニュースメディアの英語 2013) 高橋,伊藤、R. Powell 編 Asahi Press その他の教材は随時配布する	
成績評価の方法・基準等	出席１０％、 G-TELP ２０％、 e-learning 教材 1(Power Words) １０％ e-learning 教材 2(3-STEP) １０％ 授業中の課題１０％、 期末テスト４０％	
受講要件（履修条件）	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	事前に、教科書の音声データをダウンロードして、十分に理解しておくこと	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009021	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M3)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	(M3)		
担当教員Eメールアドレス	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー	火曜 2 限 (事前にメールで連絡すること)		
授業のねらい	① 英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 ② 課題について英語で論述する力を養う。 ③ 英文のリスニングの能力を養う。		
授業方法（学習指導法）	① 指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 ② 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業到達目標	① 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 ② 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 ③ 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	COURSE OUTLINE（導入）：教材配布	
	2	英文速読教材 (1)	
	3	英文速読教材 (2)	
	4	Listening Comprehension Quiz (第 1 回)	
	5	英文要約教材 (1)	
	6	英文要約教材 (2)	
	7	Listening Comprehension Quiz (第 2 回)	
	8	大学新聞の英語 (1)	
	9	大学新聞の英語 (2)	
	10	Listening Comprehension Quiz (第 3 回)	
	11	英文手紙の基礎と練習	

	12	英文交渉メールの基礎と練習
	13	G-TELP (Test)
	14	課題作文練習 (1)
	15	課題作文練習 (2)
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材は授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席 1 0 %、 G-TELP 2 0 % 指定する e-learning 教材 2 0 % 授業中の課題 1 0 %、 期末テスト 4 0 %	
受講要件 (履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009022	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E1)		
編集担当教員	井上 一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	井上 一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井上 一郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(E1)		
担当教員Eメールアドレス	inoue@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6 F		
担当教員TEL	819-2376		
担当教員オフィスアワー	月曜日 4 校時		
授業のねらい	英文テキストを用いて徹底的な読解指導を行います。テキストとは、そこにおいて読者は「内在する読者」となり、「内在する作者」からのメッセージを聴き取る、ある意味で極めてコミュニケーション的な場です。		
授業方法（学習指導法）	クラスの人数は多いかもしれませんが、演習形式で進めます。この形式を成立させるためには、受講生の側の努力も必要です。つまり、必ず予めテキストは良く読んでおいて下さい。		
授業到達目標	読解力の達成は、英文を日本語に表現し直した場合に査定されます。したがって、正確な日本語の能力もあわせて必要になります。		
授業内容	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 授業の進め方等を説明する。	
	2	第二回 It's high time men ceased to regard women as second class citizen	
	3	第三回 Television is doing irreparable harm	
	4	第四回 Any form of education other than co-education is simply unthinkable	
	5	第五回 New fashions in clothing are created solely for the commercial exploitation of women	
	6	第六回 The younger generation knows best	
	7	第七回 Parents are too permissive with their children	
	8	第八回 Advertisers perform a useful service to the community	
	9	第九回 Vicious and dangerous sports should be banned by law	
	10	第十回 Examinations exert a pernicious influence on education	
	11	第十一回 Books, plays and film should be censored	

	12	第十二回 The tourist trade contributes absolutely nothing to increasing understanding between nations
	13	第十三回 G-TELPテスト
	14	第十四回 Capital punishment is the only way to deter criminals
	15	第十五回 The space race is the world's biggest money waster
	16	第十六回 定期試験
キーワード	スロー・リーディング、コミュニケーション	
教科書・教材・参考書	テキスト：FOR AND AGAINST	
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、G－TELP 20%、課外学習のe-learning 20%。課外学習のe-learningに関しては第一回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	全回出席。全回予習。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009023	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (K4)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(K4)		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階 4 5 4		
担当教員TEL	8 1 9－2 7 4 0		
担当教員オフィスアワー	月曜日 16：00－17：00		
授業のねらい	(1) 英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける (2) 英語で自分の意見を言えるようになる		
授業方法（学習指導法）	リスニング、リピーティング、レコーディング、スピーキング、ペアワーク		
授業到達目標	英語でのスピーキング力をつける		
授業内容	① 日本語は音節が約100、英語は約3000なので、日本人は実際に口をよく動かして、英語の発音の仕方を学ぶ必要がある。基本的な英語の文型を吹き込んだCDを何回も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる。 ② いろいろなトピックについて、ペアを組んで話をする。その後、その話題についてエッセイを書き、エッセイ集を作る。 ③ 副読本を読んで、内容と感想を英語でまとめる。 ④ 英語のスピーキングテスト（30分）の準備を行う。 ⑤ G-TELP筆記試験を受ける。 ⑥ 3 Step Call System を家庭学習で15時間聞く ⑦ Power Words レベル3を行う ⑧ トピックの練習問題をする		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、1－4課	
	2	5－8課、ペアワーク	
	3	9－12課、ペアワーク	
	4	13－16課、ペアワーク	
	5	17－20課、ペアワーク	
	6	21－24課、ペアワーク	

	7	2 5－2 8 課、ペアワーク
	8	2 9－3 2 課、ペアワーク
	9	3 3－3 6 課、ペアワーク
	10	3 7－4 0 課、ペアワーク
	11	4 1－4 4 課、ペアワーク
	12	4 5－4 8 課、ペアワーク
	13	G-TELPテスト
	14	スピーキングテスト
	15	4 9－5 0 課、ペアワーク
	16	定期試験
キーワード	英語のスピーキング、ペアワーク	
教科書・教材・参考書	英会話なるほど練習帳（アルク、2001） 副教材：Just like a Movie （ケンブリッジ）	
成績評価の方法・基準等	○定期試験 5 0 %、G-TELP筆記試験 2 0 %、レコーディング宿題 1 0 %、3 Step Call System 1 0 %、Word Power 10% 英語カフェ、トイッククラスを受講すれば加点します	
受講要件（履修条件）	レコーディングの宿題を毎日やること。積極的に学習に取り組むこと。	
本科目の位置づけ	スピーキングは英語学習の基礎である。ここからスタートし、リスニング、リーディングと進めば、上達します。	
学習・教育目標	話せる英語を身につけて、将来に備えよう。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	自宅学習で、リスニングと語彙力の養成、スピーキングの基礎練習に取り組むこと	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009024	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (K1)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(K1)		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階 4 5 4		
担当教員TEL	8 1 9－2 7 4 0		
担当教員オフィスアワー	月曜日 16：00－17：00		
授業のねらい	1) 英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける。 2) 英語で自分の意見を言えるようになる		
授業方法（学習指導法）	レコーディング学習、リピーティング、ペアでのスピーキング		
授業到達目標	英語で話せるようになる。		
授業内容	① 英語は音節が約100、英語は3000なので、日本人は口をよく動かして、英語の発音の仕方をマスターする必要がある。CDを何回も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し記録をとる。 ② いろいろなトピックについて、ペアで話す。その話題についてエッセイを書き、エッセイ集を作る。 ③ 副読本を読み、内容と感想を英語でまとめる。 ④ スピーキングテスト（30分）の準備をする。 ⑤ G-TELP筆記試験を受ける。 ⑥ 3 Step Call System を使って自宅でリスニング練習をする。 ⑦ Power Words のレベル3を行う ⑧ トピックの練習問題をする		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、1－4課	
	2	5－8課、ペアワーク	
	3	9－12課、ペアワーク	
	4	13－16課、ペアワーク	
	5	17－20課、ペアワーク	
	6	21－24課、ペアワーク	

	7	25－28課、ペアワーク
	8	29－32課、ペアワーク
	9	33－36課、ペアワーク
	10	37－40課、ペアワーク
	11	41－44課、ペアワーク
	12	45－48課、ペアワーク
	13	G-TELP 筆記試験
	14	スピーキングテスト
	15	49－50課、ペアワーク
	16	定期試験
キーワード	英語のスピーキング、ペアワーク	
教科書・教材・参考書	英会話なるほど練習帳（アルク、2001） 副読本：Just Like a Movie （ケンブリッジ）	
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50％、G-TELP筆記試験20％、レコーディング宿題10％、3 Step Call System 10％、Power Words 10％ 英語カフェ、トイッククラスに参加すれば加点します	
受講要件（履修条件）	レコーディングの宿題を毎日やること。リスニングの自宅学習をやること。	
本科目の位置づけ	スピーキングは英語学習の基礎である。ここからスタートし、リスニングリーディングと進めば、上達します。	
学習・教育目標	話せる英語を身につけて、将来に備えよう。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	自宅学習に熱心に取り組んでください。レコーディング、リスニング、語彙力養成です。達成時間は定期的にチェックします。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009025	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M4)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(M4)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	Listening 10, プリント教材(4)	
	12	Listening 11, プリント教材(4)	
	13	G-TELP	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	大学におけるアカデミックな英語の学習方法を一日も早く身に付けてもらいたい	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009026	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T3)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	(T3)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	Listening 10, プリント教材(4)	
	12	Listening 11, プリント教材(4)	
	13	G-TELP	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	大学におけるアカデミックな英語の学習方法を一日も早く身に付けてもらいたい	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009027	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (T10)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	(T10)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	Listening 10, プリント教材(4)	
	12	Listening 11, プリント教材(4)	
	13	G-TELP	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	大学におけるアカデミックな英語の学習方法を一日も早く身に付けてもらいたい	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009028	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M6)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	(M6)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業のねらい	精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになるための基礎を培う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(1)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	Listening 5, プリント教材(2)	
	7	Listening 6, プリント教材(2)	
	8	Listening 7, プリント教材(3)	
	9	Listening 8, プリント教材(3)	
	10	Listening 9, プリント教材(3)	
	11	Listening 10, プリント教材(4)	
	12	Listening 11, プリント教材(4)	
	13	G-TELP	

	14	Listening 12, プリント教材(4)
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	大学におけるアカデミックな英語の学習方法を一日も早く身に付けてもらいたい	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009029	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M5)		
編集担当教員	池田 俊也		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(M5)		
担当教員Eメールアドレス	t-iked@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階（621号室）		
担当教員TEL	821-2092		
担当教員オフィスアワー	在室時随時		
授業のねらい	①大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ②「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。 ③「聴解力」指導については、毎回行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。		
授業方法（学習指導法）	①「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的には医学・医療英語を総合的に扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやってもらう。 ②あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集で毎時間小テストを実施する。		
授業到達目標	①要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ②TOEIC Test で700点以上の高得点を取れるような日常的努力を、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。		
	16回目 7月29日 定期試験		
	回	内容	
	1	以下のおおまかな順番で授業を進める。①はReading 教材の内容、②は聴解教材のトピック。日付横の語句は当日のスキル目標である。 4月5日：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） 読解 ①Basic for Health Care Professionals 聴解 ②Drill 1	
	2	4月12日：Phrase Reading の実際 読解 ①The Digestive System 聴解 ②Drill 2	

授業内容	3	4月19日：Words per Minute とは？速読の方法 読解 ①Cardiovascular System 聴解 ②Drill 3
	4	4月26日：Topic sentence と Main idea 読解 ①The Neurological System 聴解 ②Drill 4
	5	5月10日：Passage の中の Topic Paragraph 読解 ①The Urinary System 聴解 ②Drill 5
	6	5月17日：Scanning の方法 読解 ①The Reproductive System 聴解 ②Drill 6
	7	5月24日：各種テストでの Scanning 利用 読解 ①The Skeletal System 聴解 ②Drill 7
	8	5月31日：Skimming の方法 読解 ①The Immune System 聴解 ②Drill 8
	9	6月7日：Paragraph Reading と Skimming 読解 ①The Endocrine System 聴解 ②Drill 9
	10	6月14日：未知語との遭遇（語彙の類推） 読解 ①Preventing of the Infectious disease 聴解 ②Drill 10
	11	6月21日：テキストの展開（Time Order)について 読解 ①Cancer Detection 聴解 ②Drill 11
	12	6月28日：テキストの展開 (Cause and Effect)について 読解 ①Robotic Surgery 聴解 ②Drill 12
	13	7月5日：G-Telp テスト実施
	14	7月12日：テキストの構造 読解 ①Generic Research 聴解 ②Drill 13
	15	7月19日：Fact と Opinion の判別 読解 ①Clinical Research 聴解 ②Drill 14
	16	定期試験：詳細については授業中に説明
キーワード		
教科書・教材・参考書	①西村月満 他, Understanding Health Care, 朝日出版 ②河合忠仁 他, Score Goals in Toeic Test, Listening 600, 松柏社	
成績評価の方法・基準等	期末筆記試験及び小テストの結果（60％）とG-Telp Test(20%),e-ラーニングによる自学(20％)など総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009030	科目番号	059000090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (L3)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	(L3)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月8日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月15日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月22日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	5月13日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月20日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	

授業内容	6	5月27日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)
	7	6月3日 第7回 インフォメーションギャップによる ^ハ アワーク(1), 映画による聞き取り(1)
	8	6月10日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
	9	6月17日 第9回 インフォメーションギャップによる ^ハ アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月24日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	7月1日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^ハ アワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	7月8日 G-TELPテスト
	13	7月22日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	14	7月23日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	15	7月29日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト C u l t u r a l E n c o u n t e r s (センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening +Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009031	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L6)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	(L6)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	4月9日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月16日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月23日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	4月30日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月7日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
		5月14日	

授業内容	6	第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)
	7	5月21日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)
	8	5月28日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
	9	6月4日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月11日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月18日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月25日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月2日 G-TELPテスト
	14	7月9日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	7月16日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト C u l t u r a l E n c o u n t e r s (センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	G - T E L P (20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009032	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (P1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(P1)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^ペ アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月17日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と ^ペ アワーク(1), 医学英語(1)	
	3	4月24日 第3回 Voice Aerobics, 医学英語(2)	
	4	5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 医学英語(3)	
	5	5月8日	

授業内容		第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医学英語(4)
	6	5月15日 第6回 弱く発音される音, 医学英語(5)
	7	5月22日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1),
	8	5月29日 第8回 聞こえなくなる音, 医学英語(6), 速読(2)
	9	6月5日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 医学英語 (7)
	10	6月12日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月19日 第11回 なくなる音, 医学英語(8), 速読(4)
	12	6月26日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3)
	13	7月3日 G-TELPテスト
	14	7月10日 第13回 つながる音, 医学英語(9), 速読(5)
	15	7月17日 第14回 医学英語(10), 速読(6), summarizing and retelling, semantic mapの応用
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening +Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件（履修条件）	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を電子化教材を用いて必ず復習すること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009033	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L2)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(L2)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	回	内容	
	1	4月10日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月17日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月24日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
		5月15日	

授業内容	6	第 6 回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)
	7	5月22日 第 7 回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)
	8	5月29日 第 8 回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
	9	6月5日 第 9 回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月12日 第 1 0 回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月日 第 1 1 回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月25日 第 1 2 回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月3日 G-TELPテスト
	14	7月10日 第 1 3 回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	7月17日 第 1 4 回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト C u l t u r a l E n c o u n t e r s (センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening +Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
受講要件（履修条件）	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009034	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(M1)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^ペ アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心にを行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月5日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月12日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と ^ペ アワーク(1), 医者と患者の会話(1)	
	3	4月19日 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)	
	4	4月26日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 医者と患者の会話(3)	
	5	5月10日	

授業内容		第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)
	6	5月17日 第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)
	7	5月24日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1),
	8	5月31日 第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)
	9	6月7日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	6月14日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月21日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	6月28日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3)
	13	7月5日 G-TELPテスト
	14	7月12日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	15	7月19日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
	16	
キーワード	Reading and listening strategies	
教科書・教材・参考書	English for Medicine (金星堂)	
成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening +Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。	
受講要件 (履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。Net Academy内のPower Wordsのプログラムでレベルを一つ上げる。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009035	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (P2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(P2)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。 その後、テキストを用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。 またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		

16回 定期試験

回	内容
1	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1)
2	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 5 Unit1~5 3 Step
3	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit6~10 3 Step
4	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit11~15 3 Step
5	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit16~20 3 Step
6	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit21~25 3 Step
7	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit26~30 3 Step
8	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 5 Unit31~34 3 Step
9	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 5 Unit35~38 3 Step
10	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit39~42 3 Step
11	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit43~45 3 Step
12	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit46~48 3 Step
13	G-TELP テスト
14	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 5 Unit49~50 3 Step
15	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words 実力テスト 3 Step テスト
16	定期試験

授業内容

キーワード

スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング

教科書・教材・参考書

教科書（テキスト）：Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan（EIKO-SHA）（CD付）1,900円

成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、授業中の発表10%,G-TELP 20%, e-learning 20%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009036	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (F3)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(F3)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力の養成や構文練習を行い、リスニングスキルやスピーキングスキルを向上させます。またプリント教材や英字新聞も用いて、毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、リスニングストラテジーやリスニングスキルを身につけてもらいます。そして、テキストに用意されたキーセンテンスや会話文を利用して、スピーキングの練習をします。また英字新聞等を利用して、フレーズリーディングをしながら、速読の練習をします。パラグラフを要約したり、必要な情報をすばやく見つけるようなスキミング、スキニングの練習もします。授業の一部を利用して、e-learning 教材に挑戦してもらい、語彙力やリスニング力をさらに強化します。e-learning 教材の多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。		
授業到達目標	英字新聞の記事を辞書なしでも大意がとれるようにします。英字新聞で使われた語彙を修得するようにします。 また教科書の歌や歌詞が80％聞き取れるようにします。教科書の課題例文120をリピーティングできるまで練習します。 e-learning 教材パワーワーズレベル3を終わりまで学習します。3 Step CALL の教材に合計15時間以上挑戦してもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。次に、教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。歌で使用されている構文を利用した暗記用例文をリピーティングすることにより、スピーキングの練習をしてもらいます。その後、リーディングの練習をします。学生はプリント教材や英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。		

担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。

回	内容
1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 3 Step
2	Edelweiss, Amazing Grace 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 3 Step
3	Puff 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 3 Step
4	Unchained Melody 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 3 Step
5	Over the Rainbow 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 3 Step
6	Where Have All the Flowers Gone? 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 3 Step
7	Tennessee Waltz 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 3 Step
8	My Way 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 3 Step
9	Dreaming Home and Mother 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 3 Step
10	Long Long Ago 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 3 Step
11	Grandfather's Clock 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 3 Step
12	I've Working on the Railroad 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 3 Step
13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ
14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47 3 Step

授業内容

	15 We wish you a Merry Christmas 英字新聞記事5 e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 3 Step 16 定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： English Melodies of the Heart (CD付) (英光社) 1,795円 英字新聞 10円 （第1回目の授業時に教室にてセットで販売します） 教材：プリント教材 毎回配布します。
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%（小テスト含む）、授業中の発表10%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009037	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (E6)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	(E6)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力の養成や構文練習を行い、リスニングスキルやスピーキングスキルを向上させます。またプリント教材や英字新聞も用いて、毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、リスニングストラテジーやリスニングスキルを身につけてもらいます。そして、テキストに用意されたキーセンテンスや会話文を利用して、スピーキングの練習をします。また英字新聞等を利用して、フレーズリーディングをしながら、速読の練習をします。パラグラフを要約したり、必要な情報をすばやく見つけるようなスキミング、スキニングの練習もします。授業の一部を利用して、e-learning 教材に挑戦してもらい、語彙力やリスニング力をさらに強化します。e-learning 教材の多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。		
授業到達目標	英字新聞の記事を辞書なしでも大意がとれるようにします。英字新聞で使われた語彙を修得するようにします。 また教科書の歌や歌詞が80％聞き取れるようにします。教科書の課題例文120をリピーティングできるまで練習します。 e-learning 教材パワーワーズレベル3を終わりまで学習します。3 Step CALL の教材に合計15時間以上挑戦してもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。次に、教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。歌で使用されている構文を利用した暗記用例文をリピーティングすることにより、スピーキングの練習をしてもらいます。その後、リーディングの練習をします。学生はプリント教材や英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。		

担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。

回	内容
1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 3 Step
2	Edelweiss, Amazing Grace 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 3 Step
3	Puff 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 3 Step
4	Unchained Melody 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 3 Step
5	Over the Rainbow 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 3 Step
6	Where Have All the Flowers Gone? 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 3 Step
7	Tennessee Waltz 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 3 Step
8	My Way 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 3 Step
9	Dreaming Home and Mother 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 3 Step
10	Long Long Ago 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 3 Step
11	Grandfather's Clock 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 3 Step
12	I've Working on the Railroad 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 3 Step
13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ
14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47 3 Step

授業内容

	15 We wish you a Merry Christmas 英字新聞記事5 e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 3 Step 16 定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： English Melodies of the Heart (CD付) (英光社) 1,795円 英字新聞 10円 （第1回目の授業時に教室にてセットで販売します） 教材：プリント教材 毎回配布します。
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%（小テスト含む）、授業中の発表10%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009038	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L1)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	(L1)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力の養成や構文練習を行い、リスニングスキルやスピーキングスキルを向上させます。またプリント教材や英字新聞も用いて、毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、リスニングストラテジーやリスニングスキルを身につけてもらいます。そして、テキストに用意されたキーセンテンスや会話文を利用して、スピーキングの練習をします。また英字新聞等を利用して、フレーズリーディングをしながら、速読の練習をします。パラグラフを要約したり、必要な情報をすばやく見つけるようなスキミング、スキニングの練習もします。授業の一部を利用して、e-learning 教材に挑戦してもらい、語彙力やリスニング力をさらに強化します。e-learning 教材の多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。		
授業到達目標	英字新聞の記事を辞書なしでも大意がとれるようにします。英字新聞で使われた語彙を修得するようにします。 また教科書の歌や歌詞が80％聞き取れるようにします。教科書の課題例文120をリピーティングできるまで練習します。 e-learning 教材パワーワーズレベル3を終わりまで学習します。3 Step CALL の教材に合計15時間以上挑戦してもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。次に、教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。歌で使用されている構文を利用した暗記用例文をリピーティングすることにより、スピーキングの練習をしてもらいます。その後、リーディングの練習をします。学生はプリント教材や英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。		

担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。

回	内容
1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 3 Step
2	Edelweiss, Amazing Grace 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 3 Step
3	Puff 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 3 Step
4	Unchained Melody 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 3 Step
5	Over the Rainbow 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 3 Step
6	Where Have All the Flowers Gone? 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 3 Step
7	Tennessee Waltz 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 3 Step
8	My Way 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 3 Step
9	Dreaming Home and Mother 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 3 Step
10	Long Long Ago 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 3 Step
11	Grandfather's Clock 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 3 Step
12	I've Working on the Railroad 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 3 Step
13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ
14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47 3 Step

授業内容

	15 We wish you a Merry Christmas 英字新聞記事5 e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 3 Step 16 定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： English Melodies of the Heart (CD付) (英光社) 1,795円 英字新聞 10円 （第1回目の授業時に教室にてセットで販売します） 教材：プリント教材 毎回配布します。
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%（小テスト含む）、授業中の発表10%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590009039	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (M2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(M2)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法（学習指導法）	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
	授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。 その後、テキストを用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。 またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		

16回 定期試験

回	内容
1	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1)
2	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 5 Unit1~5 3 Step
3	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit6~10 3 Step
4	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit11~15 3 Step
5	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit16~20 3 Step
6	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit21~25 3 Step
7	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit26~30 3 Step
8	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 5 Unit31~34 3 Step
9	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 5 Unit35~38 3 Step
10	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 5 Unit39~42 3 Step
11	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 5 Unit43~45 3 Step
12	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 5 Unit46~48 3 Step
13	G-TELP テスト
14	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 5 Unit49~50 3 Step
15	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words 実力テスト 3 Step テスト
16	定期試験

授業内容

キーワード

スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング

教科書・教材・参考書

教科書（テキスト）：Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan（EIKO-SHA）（CD付）1,900円

成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、授業中の発表10%,G-TELP 20%, e-learning 20%で行います。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	201305900009040	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (L5)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(L5)		
担当教員Eメールアドレス	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10～17:40		
授業のねらい	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて	
	2	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea	
	4	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events	
	5	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル	
	7	Unit 7 Breakfast Like a King	

授業内容		Inferring のスキル
	8	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas
	9	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)
	10	Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
	11	Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
	12	Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2)
	13	Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3)
	14	Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluenvy (4)
	15	授業のまとめ G-TELP 試験
	16	定期試験実施
キーワード	英語の 4 技能、 総合的訓練	
教科書・教材・参考書	Intermediate Skills for Reading 成美堂	
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、毎回実施の小テスト(10%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	既習外国語	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	

